

記入要領

次の点に留意の上、記入してください。

I 履歴書（様式2）

- 1 「年月」、「生年月日（年齢）」など年を記載する欄について、別に指定がない限り、和暦により記載してください。
- 2 「氏名」の欄について、旧姓等の通称名を使用している場合は、（ ）書きで本名を併記してください。
【例】 通称名が山田太郎、本名が田中太郎の場合…【山田（田中）太郎】
生年月日、満年齢、現住所、連絡先（電話）、(e-mail)を漏れなく記入してください。
※貼付する写真は写りが鮮明なものに限る。
- 3 「学歴」の欄について
 - ・大学入学以降のすべての学歴について、正式な学校名称を記載するとともに、入学、卒業等の事項が分かるように記入してください。なお、博士課程において課程の修了に必要な単位を取得後、博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
 - ・学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文（卒論を含む）の題目を併記してください。
学位の専攻分野については、授与された時期によって表記が異なりますので、正確に記入してください。
 - ・医師、薬剤師、獣医師、教員、技術士等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあっては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
 - ・学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - ・外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットと片仮名を併記し、国名を必ず記載してください（職歴についても同様としてください）。
- 4 「職歴」の欄について
 - ・すべての職歴（自営業、主婦、無職等も含む）を記入するとともに、職名、地位等、在職期間についても明記してください。現職については「現在に至る」と記入してください。
なお、研究生および専攻生などの研究歴、非常勤講師などの教育歴、大学教員の場合には所属学部学科等・担当授業科目等も記入してください。
 - ・研究者としての外国の大学や研究機関への所属歴についても記入してください。
 - ・外国での職歴等を記載する場合はアルファベットとカタカナを併記してください。
 - ・過去に大学設置・学校法人審議会（旧大学設置審議会を含む）で教員審査を受け、教員の資格があると認められた場合には、当該審査の年月、大学・研究科名称、職位及び担当授業科目の名称（大学院にあっては、判定結果を含む）を記入してください。また、過去に

高等専門学校の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定の時期、高等専門学校の名称、職位及び授業科目の名称を記入してください。

5 「学会及び社会における活動等」について

- ・「現在所属している学会」には、履歴書作成時において所属する学会の名称を記入してください。
- ・学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。国内外の学術団体等役員の正・副会長、理事、評議員、編集委員、専門委員、審査員等及び公的機関の委員会委員長等（都道府県レベルの公的活動を含む）については、これを明記してください。
- ・教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。

6 「賞罰」の欄には、公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。該当がない場合は「該当なし」と記載してください。

7 「現在の職務の状況」の欄について

- ・履歴書作成時における職務の状況について記載してください。
- ・「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」、「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」、「理事」等の職名を記入してください。職名がない場合は「―」を記入してください。
- ・「勤務状況」については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

8 最後の誓約部分の「氏名」は本人自署の上、押印してください。

Ⅱ 教育研究業績書（様式3）

1 「年月日」など年を記載する欄について、別に指定がない限り、和暦により記載してください。

2 「氏名」の欄は、本人が自署の上、押印してください。

3 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の審査区分表「大区分、中区分、小区分」の「中区分」の名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の「小区分」を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、「小区分」に該当がない場合は、適宜記入してください。

4 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

(1) 共通事項

- 「事項」の項には、担当授業科目等に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。

○「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。

○「概要」の項には、それぞれの事項について200字程度で記入してください。当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。

(2)「教育上の能力に関する事項」の例

○「1 教育方法の実践例」について

- ・優れた教育方法の実践例、授業外における学習を促進する取組（フィールドワークの活用、授業内容のインターネット上での公開、双方向・多方向型授業、外国語による授業、司法研修所等の教育機関における教育経験 等）の主要なものを記入してください。

○「2 作成した教科書、教材」の例

- ・授業や研修指導等で教科書として使用する著書、教材等（後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合、「(再掲)」と記載のこと。）

○「3 教育上の能力に関する大学等の評価」

下記のいずれかに該当する評価がある場合に記入してください。

- ・採用決定の際等における評価内容
- ・各大学における自己点検・評価での評価結果
- ・学生による授業評価、教員による相互評価等の結果
- ・上記以外で学長、学部長、諸機関等が行った評価（但し、客観性をもったものに限る。）等

○「4 実務の経験を有する者についての特記事項」

下記のいずれかに該当する実績がある場合に記入してください。この場合、教育機関・対象者等も記入してください。

- ・大学から受け入れた実習生等に対する指導
- ・日本薬剤師センター等の職能団体の依頼による研修指導等
- ・訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修等
- ・大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等

○「5 その他」

- ・大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
- ・国家試験問題の作成等

※ 上記にとらわれず、積極的に記載してください。

(3)「職務上の実績に関する事項」の例

○「1 資格、免許」

- ・医師、薬剤師、獣医師、教員、技術士等の資格で開講予定科目に関連するもの

○「2 特許等」

- ・特許、実用新案等で担当授業科目に関連するもの

○「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例

- ・大学との共同研究
- ・訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績
- ・各種審議会・行政委員会、各種ADR等の委員

- ・行政機関における調査官等の官職
- ・研究会・ワークショップ等での報告や症例発表
- ・調査研究、留学、海外事情調査等
- ・上記を裏付ける報告書、手引書、マニュアル、雑誌等

※上記内容について、具体的に記入してください。

○「4 その他」

- ・職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
- ・論文の引用実績等

○資格の証明書、雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。

5 「研究業績等に関する事項」の欄について

(1) 書類の作成時において未発表の業績等については記載しないでください。ただし、受理されて印刷中のものは、その証明となる書類等の写しを添付の上、記載してください。その際、可能な限り掲載予定年月日を記載してください。

(2) 「著書、学術論文等の名称」の項について

○研究等に関連する業績全てを、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。

○「(著書)」及び「(学術論文)」のうち主要なもの5編の通し番号に○印を付してください。

○「(著書)」については、書名を記入してください。

○「(学術論文)」については、国際学術雑誌、学会機関誌、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、学術論文の先頭に博士、修士の順にその旨を明記してください。

○「(その他)」については、総説、学会抄録、依頼原稿、報告書、訳書、書評、辞典項目等にあつては当該記事のタイトルを、学会等での報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。学会等での発表については、その結果である抄録等の名称・発行者を明記してください。

また、単独発表・共同発表（口頭発表者・連名発表者の区別）、討論者等の区別を明記してください。

○査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。

○学術論文等が外国語の場合、著書等名（共著の場合は本人担当部分の章、節、題名も含む）はその外国語で記入するとともに、（ ）書きで和文を記入してください。当該著書等の概要は日本語のみで構いません。

(3) 「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」（翻訳にあつては、「単訳」、報告にあつては、「単独」）、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」（翻訳にあつては、「共訳」、報告にあつては、「共同」）と記入してください。なお、学会発表等の場合は「一」を記入してください。

(4) 「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を、上段に西暦のみ、下段に年号と月でそれぞれ記入してください。（例：2023年（令和5年）8月）

(5) 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について

- 著書については、発行所と総頁数を記入してください。
 - 学術論文等については、発表雑誌等の名称（および発行所名を括弧内に記入）、巻・号、掲載ページ（例：P〇〇～P〇〇）等を明記してください。学位論文については、提出先大学名、分量（「A4△△枚」等）を明記してください。
 - 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
- (6)「**概要**」の項について
- 当該著書等の概要を 200 字程度で記入してください。
 - 当該著書等が共著の場合には、以下の事項に留意して記入してください。
 - ・編者がいる場合、冒頭に「编者」と記入し、一文字空けて编者名を記入し、行を変えて「著者」と記入し、一文字空けて、本人の氏名（下線を付すこと）を含む共著者全員の氏名を、当該著書等に記載された順に記入してください（共著者が多数にわたる場合は主要な共著者の氏名を記入した上で、「他〇名」と末尾に記入してください。）
 - ・次に概要を 200 字程度で記入してください（共著の場合は、本人の担当した内容を記入）。
 - ・次に、行を変えて、「分担部分」と記入し、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入してください。本人の担当部分の抽出ができない場合は、これらの代わりにその理由を記入してください（「〇〇のため、分担部分抽出不可能」と記載する。）。

様式 2

履 歴 書

令和 年 月 日現在

ふりがな				写真 (明瞭な写りのものに限る)
氏 名				
生年月日	年 月 日生 (歳)	国籍		
現住所	〒			
連絡先	(電話)	(e-mail)		

年月は和暦で御記入ください。 学 歴

年 月	事 項
年 月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
年 月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業 (〇〇学士)
年 月	中学校教諭一種免許状 (英語) 昭和〇中一種普〇号
年 月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇学専攻 (博士前期課程) 入学
年 月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇学専攻 (博士前期課程) 修了 修士 (〇〇学) 「修士論文題名 : 〇〇〇〇〇〇」
年 月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇学専攻 (博士後期課程) 入学
年 月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇学専攻 (博士後期課程) 修了 博士 (〇〇学) 「博士論文題名 : 〇〇〇〇〇〇」

短期大学、大学 (学部) の学位、学士論文名も御記入ください。

学位については、正式な学位名称、修士・博士の学位論文題名を御記入ください。

職 歴

年 月	事 項
年 月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科専任講師「〇〇学」「〇〇演習」 (平成〇年〇月まで)
年 月	大学設置・学校法人審議会の教員組織審査において〇〇大学〇〇学部〇〇学科准教授「〇〇学概論」「〇〇学演習」可と判定
年 月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科准教授「〇〇学概論」「〇〇学演習」 (平成〇年〇月まで)
年 月	大学設置・学校法人審議会の教員組織審査において〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 (修士課程) 教授「〇〇特論」「〇〇演習」M可、「〇〇特別研究」M合の資格有りと判定
年 月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科「〇〇学概論」「〇〇学演習」 (現在に至る)
年 月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 (修士課程)「〇〇特論」「〇〇演習」「〇〇特別研究」 (現在に至る)
年 月	△△大学△△学部△△学科非常勤講師「〇〇論」 (現在に至る)

学部等設置時の前判定があれば記載してください。

大学院の前判定は、判定結果 (D合、D合、M合、M合、可) を記入してください。

担当科目を「」で記載してください。

大学院の担当や非常勤歴も記載してください。

学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等				
現在所属している学会		日本〇〇学会、△△学会		
下記の事項欄「学会活動」に入会事項を記載してください。				
年	月	事 項		
年 月 年 月 年 月 年 月		「学会活動」 日本〇〇学会入会（現在に至る） □□学会入会（ 年 月まで） △△学会入会（現在に至る） 日本〇〇学会理事（現在に至る） この欄は、「学会活動」「社会活動」「研究活動」に区分してください。 「学会活動」には学会の入会や活動について御記入ください。 「研究活動」には科研費等研究助成獲得について御記入ください。 「社会活動」 年 月 〇〇県〇〇審議会委員（平成〇年〇月まで） 「研究活動」 年 月 科学研究費補助金（基盤研究C）「〇〇に関する〇〇研究」 研究者代表 研究経費：平成〇年度 2,100千円、平成〇年度 1,300千円		
賞 罰				
年	月	事 項		
年 月		日本〇〇学会〇〇賞（〇〇〇〇〇〇〇〇の功績について）		
現 在 の 職 務 の 状 況				
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況	
〇〇大学	教 授	〇〇学部〇〇学科	〇〇学概論、〇〇学演習	
〇〇大学大学院	教 授	〇〇研究科〇〇専攻（修士課程）	〇〇特論、〇〇演習、〇〇特別研究	
△△研究所	兼 任	△△会社△△研究センター	△△関連製品開発	
上記のとおり相違ありません。				
令和 年 月 日 日付は書類提出日以前としてください。 氏 名 印 本人自署のうえ、押印してください。				

様式 3

本人自署のうえ、押印してください。

教 育 研 究 業 績 書		
令和 年 月 日		氏 名
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
3 つ以内	5 つ以内	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 工夫した教育方法、その成果についてご記入ください。		事項欄には教育方法のタイトル、年月日欄は当該授業方法を実施した期間、概要欄に具体的な教育方法とその成果等を記載してください。
2 作成した教科書、教材 研究業績の著書と重複する場合は、こちらに(再掲)と記載してください。		事項欄には教科書、教材のタイトル、年月日欄は当該教材作成年月日、概要欄に具体的な教科書、教材の内容や工夫点、教育成果等を記載してください。
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項 実務実績のうち教育・研究に関連する事項をご記入ください。		
5 その他 大学院(修士・博士)研究指導実績、学位論文審査実績(主査・副査)があればご記入ください。		
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事項	年 月 日	概 要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

記入要領を確認して記載してください。

記入要領を確認して記載してください。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概
(その他) 「総説」 1 2 3 : 「研究報告書」 1 2 3 : 「国際学会発表」 1 外国語業績は原語題名の下に () で和訳を記載してください。 2 3 : 「国内学会発表」 1 2 3 : その他 国内学会発表○件				

その他は、業績に応じ適宜小見出しをつけて分類してください。

業績数が多く省略する場合には、件数をご記入ください。

研究業績については、書類作成時点で未発表のものは記入できません。ただし、受理されて印刷中のものは、その証明(写し)を添付の上、記載してください。